



◀座談会の会場は、令和5年7月にオープンしたミライエ長岡の「ミライエハウス」。ワークショップやセミナーなども行われる

**山田（進行）** 新型コロナウイルスの影響で大きく変化した世の中。昨年は、新しい形で日常を取り戻しつつある1年でした。

**市長** 今、この先どうなるのか分からない、先行きが予測できない世の中だと言われています。しかし私は、いつの時代も若者たちは希望に満ちていると思っています。今日は、長岡の未来を担う子どもや若者が新しい時代を生き抜くための力を育む活動をして

いるみなさんから夢を語っていただきたいと思います。

**山田** それは楽しみです。まずはみなさんの活動を伺いましょう。

**米百俵のまちで活躍する「長岡人」**

**廣川** 絵本セラピストとして、子育て支援施設や保育園などで絵本の講座を開催しています。お子さんや保護者一人ひとりと向き合い、対話することを大切にしています。令和3年からは教育委員も務めています。

**佐藤** 米農家に嫁いで10年です。農業を通じて小学校や幼稚園の子どもたちへの食育にも取り組んでいます。令和3年に、女性農業者同士の交流や情報交換の場となる団体を立ち上げて活動しています。

**長井** IT関連会社を営む傍ら、子どもたちにもものづくり技術を伝えたいと、20年前からロボカップジュニアの運営委員を務めています。

**山田** もう一人は、長岡で活躍する若者の代表としてお越しいただきました。



新潟県中越地域女性農業者コミュニティ nowa代表 佐藤 佑美さん

パラ陸上選手 松田 将太郎さん

ながおかメイカーズ・クラブ代表 長井 大さん

長岡市長 磯田 達伸

絵本セラピスト 廣川 佳予子さん

米百俵プレイス ミライエ長岡・互尊文庫で

## 新春座談会

# 長岡の 明るい未来へ ～米百俵の精神で築くあした～

新型コロナウイルス禍を経て、私たちの価値観やライフスタイルが大きく変化する中、未来を担う子どもたちや若者を取り巻く環境も刻々と変化しています。こうした動きに対応し、新しい時代を生き抜いていくには――

長岡には市民協働や米百俵の精神で、子どもたちや若者が挑戦し、夢をつかめるまちづくりに貢献しようと活動する人たちがいます。その活動に込める思いや目標を通して、長岡の未来をお話しいただきました。

【進行はFMながおかパーソナリティの山田光枝さん】



失敗の連続をバネに  
挑戦する。  
無駄なことは絶対ない

まつだ しょうたろう  
松田 将太郎 さん

小学5年生から陸上を始め、長岡市立高等総合支援学校在学中から長岡ACに所属。令和5年のジャパンパラ陸上競技大会100mと200mで2冠を達成。2024年のパリ・パラリンピックを目指している。



▶松田選手（中央）を支える「チーム将太郎」の大関監督（右）と小川コーチ。夢を実現するため、共にハードな練習に取り組んでいる